

津南町パブリックコメント集計結果公表

NO.	
案 件 名	ご当地ナンバーの導入にかかる地域名表示の追加要望（案）に対する意見募集
募 集 期 間	平成30年1月10日（水）～2月9日（金）
担 当 課	総務課 TEL：025-765-3112 FAX：025-765-4625 E-mail：somu@town.tsunan.niigata.jp

■ 募集の趣旨

ご当地ナンバーの導入にかかる地域名表示の追加要望（案）に対する意見募集を、平成30年1月10日（水）～2月9日（木）までの間行いました。

お寄せいただいたご意見・情報の集計が終わりましたので公表いたします。ただし、個々のご意見・情報に直接回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

■ 提出されたご意見と津南町の考え方

◇パブリックコメント手続期間中に提出された意見件数等、およびその概要と町民意見等に対する町の考え方

意見件数（人数）13件 うち無効件数（人数）6件

無効は、住所や氏名が無記名、または明らかに住所・氏名が正確ではないと判断される方の意見や町に直接関係がない方の意見です。

提出された意見の概要及び町の考え方は別紙の集計表のとおりです。

■ 提出されたご意見を考慮して決定した事項等

ご当地ナンバーの導入目的や、地域名についての考え方を総合的に整理し、パブリックコメントを実施しましたが、町民（在勤者含む）の方々から地域名に対する様々な考え方やご当地ナンバーの取組に対するご意見をいただきました。

これらについては、平成30年2月15日（木）に開催された魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会の第2回会議にて報告しました。実行委員会では、各市町においてパブリックコメントを実施したことから、住民意向を確認するためのアンケート調査を実施することになりました。

町は、18歳以上の町民（無作為抽出2,000人）を対象としたアンケート調査を実施いたします。

集 計 表

NO.	
案 件 名	ご当地ナンバーの導入にかかる地域名表示の追加要望（案）に対する意見募集

■ パブリックコメント手続結果集計表

1. 意見提出人数

直接持込またはFAX	2人
E-mail	11人
合 計	13人

■ 町民意見等の概要及び市民意見等に対する市の考え方

1人のご意見に多岐にわたる内容が含まれている場合があります、それぞれの項目で分類し、主な意見として集計しました。このため、上表の意見提出人数と、主な意見の合計件数は一致しません。それらのご意見をまとめたうえで、町の考え方を記載しました。

主な意見	件数	町の考え方
単に「反対」と記載された意見	2	次ページのとおりです。
他の地域名が良いとする意見	1	
長岡ナンバーのままでよいとする意見	2	
地域名に抱くイメージに関する意見	3	
視認性に関する意見	1	
住民への周知や意見収集に関する意見	4	
ご当地ナンバーの交付に関する意見	5	
その他の意見	3	
合計	21	

単に「反対」と記載された意見

【町の考え方】

パブリックコメントとして公表した追加要望（案）のどの部分に反対か具体的に示されておりませんが、このたびのご当地ナンバーの導入そのものに反対する意見として承りました。

他の地域名が良いとする意見

【主な意見の内容】

・魚沼などが良いとする意見

【町の考え方】

ナンバープレートに表示できる地域名の基準については、国の要綱で定められており、下記の要件を満たす必要があります。

①行政区画や旧国名などの地理的名称であり、当該地域を表すのにふさわしい名称であること。

②読みやすく、覚えやすいものであり、既存の地域名と類似していないこと。

③ナンバープレートに表示された際に十分視認性が確保されるよう、原則として漢字で2文字であること。やむを得ない場合は、漢字または平仮名で4文字までであること。

この条件を基に、広く地域の皆さんのご意見を伺おうと、地域自治組織、商工会、農協、観光協会などの関係団体からも導入について賛同をいただき、「新ナンバープレート導入推進協議会」を設立して、どのような名称がいいか協議を進めてきました。

協議を進めるうえでは、知名度や今後の地域振興・観光振興にどのように生かしていくか、などの観点で議論をしていただき、12の名称の提案がありましたが、国土交通省の助言を基に、このうち6つに絞り込みました。

この6つの名称について、推進協議会において更に導入による効果を議論いただき、最終的には委員の投票により最も得票が多かった「雪国魚沼」が候補名として選定されました。

それぞれの名称には、メリット・デメリット双方があり、様々なご意見もあろうかと思いますが、今後の地域のためになる名称として推進協議会で選定されたもので、このご意見を尊重して「魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会」で決定したものです。

なお、実際の導入に当たっては、住民意向を確認するため町民アンケートを実施することとしています。

長岡ナンバーのままでよいとする意見

【町の考え方】

国はこれまでも、地域振興や観光振興に資する観点から、追加的に新たな地域名を定める「ご当地ナンバー」の導入（平成18年、平成26年）を進めてきました。

全国の地方においては、少子化をはじめとした人口減少等により、今後の維持存続が危惧される声があります。

地域を維持し、今後も発展していくためには、行政だけでなく民間事業者や地域住民の皆様と知恵を出し合いながら、あらゆる手段を講ずることで状況を打開していくことが何より重要です。

その手段の一つが、このたびの「ご当地ナンバー」と「図柄入りナンバープレート」を組み合わせた「新ナンバープレート」の導入であると考えています。

新ナンバープレートの導入により、地域の特徴や魅力を分かりやすく発信することができます。また、多くの魅力的な地域資源を持つこの地域が、外部から見て一つのエリアに捉えられることにより、地域の価値が一層高まり、今後の地域間競争において優位性を発揮するものと認識しています。これらの地域間連携の枠組みは、新ナンバープレートにとどまらず、将来にわたり地域が発展していくために必要なことと考えています。

このたび長岡ナンバーの図柄は、「花火」に決まりましたが、当地域にとってより身近な地域名及び図柄の新ナンバープレートを導入することで、地域の一体的な振興を図ることができると考えます。

なお、実際の導入に当たっては、住民意向を確認するためアンケートを実施することとしております。

地域名に抱くイメージに関する意見

【主な意見の内容】

- ・地域名にセンスを感じない（ださい、田舎感があるなど）とする意見
- ・「雪国魚沼」では若者のUターンや移住定住に悪影響が出るとする意見
- ・「雪国」は冬のイメージが強く、季節感が偏り、他の季節の観光振興にならないとする意見
- ・「雪国魚沼」のナンバーでは県外、都市部に車で出掛ける時に恥ずかしいとする意見
- ・「雪国」にマイナスイメージを強く感じる人が多いとする意見

【町の考え方】

日本有数の豪雪地として全国的に知られている私たちの地域は、雪による困難が暮らしの中にある一方で、雪を利活用し、克服しながら住み続けてきた歴史があります。この雪国で育まれた文化や生活の知恵、雪を克服する技術は全国に誇れるものであり、これらは、この地域の特徴であり、魅力の一つです。

スポーツにおいても、当地域出身のスキーやスノーボードの選手がオリンピックや国際的な競技会に出場したり、また、オリンピックを目指す中学生や高校生が全国大会で素晴らしい成績を上げたりするなど注目を集めています。また、スキー観光や各地域で行われている雪まつり（津南スカイランタン、十日町雪まつり等）などの冬季レジャーをはじめ、多くの人たちが当地を訪れています。これらのことから、私たちの地域が「雪国」の名称を誇り高く掲げることは決して不自然ではありません。

また、「魚沼」は3市1町の圏域を表すものとしてふさわしい地理的名称であり、魚沼産コシヒカリは、実績、知名度ともに日本一のお米として全国的に知られています。

この二つを組み合わせた「雪国魚沼」がご当地ナンバーとしてふさわしいとの意見が協議会の委員の方々からも多く出され、実行委員会において、それらの内容を十分検討し、マイナスイメージよりも将来的なメリットが期待されることから、ご当地ナンバーとして要望する地域名を「雪国魚沼」と決定しました。

なお、実際の導入に当たっては、住民意向を確認するため町民アンケートを実施することとしております。

視認性に関する意見

【主な意見の内容】

- ・4文字では視認性が悪く、緊急時等に読み取りにくいのではないかとする意見

【町の考え方】

国土交通省の導入要綱では、「漢字」または「平仮名」で、文字数は最大で4文字までと決められおり、すでに4文字を表示しているナンバーもあります。視認性については、国の十分な審査を経て確保されるものと考えています。

住民の周知や意見収集の方法に関する意見

【主な意見の内容】

- ・住民への周知や意見の反映が不十分とする意見
- ・住民アンケート等が必要とする意見
- ・ご当地ナンバーを付けたくない人の意見をよく聞いてほしいとする意見
- ・推進協議会のみで決めるべきではないとする意見

【町の考え方】

新ナンバープレートの導入に当たっては、地域の合意形成が必要となることから、今後、新ナンバープレートの導入についてのアンケートを実施して、町民の皆さまの意向を伺った上で、最終的な導入について検討することが実行委員会で決定しました。町は、平成30年2月16日～2月28日の期間、2,000人を無作為抽出し調査いたします。

国土交通省では、昨年5月に地域振興や観光振興の観点から、ご当地ナンバーの追加募集を行うこととしました。これにより、当町を含む近隣5市町では、連携して取り組むことで導入することが可能と判断し、5市町の首長が発起人となって「魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会」を設立し、ご当地ナンバー導入を目指したところです。

名称の選定には、広く地域の皆様のご意見を伺おうと、地域自治組織、商工会、農協、観光協会などの関係団体からも導入について賛同をいただき、「新ナンバープレート導入推進協議会」を設立して、どのような名称がいいか協議を進めてきました。これらは広報つなん（平成29年10月20日号）でお伝えしたとおりです。

地域名の協議を進めるうえでは、国の基準を基に、知名度や地域振興・観光振興にどのように生かしていくか、などの観点で考えていただき、候補となり得る名称を提案いただきました。最終的には、それぞれの名称についてメリットを議論していただき、推進協議会の委員による投票で候補となる名称を選定していただいたところです。

これらの議論を踏まえて、ご当地ナンバーを導入する理由やナンバープレートに表示する新たな地域名、対象となる地域の考え方を整理し、ご当地ナンバーを追加要望するために新潟県へ提出する「地方版図柄入りナンバープレート地域名表示追加要望書（案）」に記載する内容について原案を作成しました。その後、平成30年1月10日から2月9日の期間においてパブリックコメントを実施し、町民の皆様のご意見をいただきました。

導入推進協議会では、これからの世代の皆様のご意見を反映させたいとの意見もありました。なお、会議でも若い世代の委員の皆様から多くの意見が出されたことから、出席している委

員の世代間の不均衡はないものと考えています。

ご当地ナンバーの交付に関する意見

【主な意見の内容】

- ・ご当地ナンバーの交付が強制的であることへの不満足意見
- ・ご当地ナンバーを選択制にしてほしいとする意見

【町の考え方】

「新たな地域名」と「長岡」ナンバーの選択についてですが、新たな地域名のナンバー（ご当地ナンバー）が導入（平成32年度予定）されると、対象市町に所在のある（使用の本拠を置く）自動車（現在「長岡」と表示されているもので、普通自動車のほかに大型自動車、軽自動車、自動二輪も対象となります。）については、「長岡」から「新たな地域名表示」の新ナンバープレートとなります。ただし、ご使用中の「長岡」ナンバーがただちに新たな地域名のナンバーに変更される訳ではなく、新車登録や移転登記等でナンバープレートを変更する場合に、順次、「新たな地域名表示」の新ナンバープレートになります。この際には、国の制度により「長岡」ナンバーを選択することはできなくなります。

なお、新ナンバープレートの導入に当たっては、地域の合意形成が必要となることから、今後、新ナンバープレートの導入についての町民アンケートを実施して、地域の皆様の意向をうかがったうえで、最終的な導入について検討します。

その他の意見

【主な意見の内容】

- ・ご当地ナンバーになると地域が限定されやすくなり不安との意見
- ・人口の少ないご当地ナンバーになると煽りなど迷惑行為を受けやすいという意見
- ・地元を愛しているし、雪国に誇りを持つことは大切だが、ご当地ナンバーでなくてよいとする意見

【町の考え方】

新ナンバープレート導入については、国の制度に基づくものであり、関係諸課題についてはご意見として承りました。

煽り等の迷惑行為は、交通違反であり、あってはならないことです。地域にとって、より身近な地域名及び図柄のナンバープレートを導入することで、地域の一体的な振興を図ることができると考えますので、ご理解くださいますようお願いいたします。